

山口大学大学院創成科学研究科 教員公募

募集人員	准教授（テニュアトラック）又は講師（テニュアトラック）又は助教（テニュアトラック） 1名
任 期	5年
所 属	山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 感性デザイン分野
専 門	都市地域環境 GX 学 (グリーントランスフォーメーションを目指す都市地域のための環境工学)
着任時期	令和7年4月1日
業務内容	<ol style="list-style-type: none">1. 積極的な研究活動2. 査読付論文の発表や特許取得等、研究成果のアウトプット活動3. 国際会議等における研究結果の発表を含む、社会・国民への研究成果の発信及び利用促進に関する活動4. 外部資金の積極的な申請及び獲得5. 学部生・大学院生への授業及び研究指導6. 所属部局が必要と認めた業務
担当科目	<ol style="list-style-type: none">1. 建築環境工学および演習2. 建築設備工学および演習3. 共通教育科目
応募資格	<p>以下に掲げる条件をすべて満たす者</p> <ol style="list-style-type: none">1. 令和7年4月1日で博士の学位取得後10年以内（※1）又は着任時まで取得見込みであること。2. 採用内定後、「地方協奏による世界トップクラスの研究者育成」コンソーシアム（以下、「HIRAKU-Global」という。）が募集する「HIRAKU-Global プログラム選抜教員」に応募し、選考を受けること。 HIRAKU-Global 事業の概要：https://www.hiroshima-u.ac.jp/hiraku-g3. 建築学又は都市工学又は環境工学に関する研究業績を有し、従来の「建築環境工学」を発展させた「都市地域環境 GX 学」という新しい分野・領域での研究を推進できること。4. 学部生・大学院生への授業及び研究指導ができること。5. 国際的な教育・研究活動に熱意があること。6. 教育研究や国際交流に必要な語学力を有すること。7. 教育研究に十分な日本語または英語能力を有すること。 ただし、日本語能力が不十分な場合は、任期終了までに教育研究に十分な日本語能力の習得が求められる。 <p>※1 産前・産後休暇および育児休暇を取得した方は、その取得期間について10年を越えることが可能です。</p>
待 遇	給与等雇用条件は、本学の規則による。年俸制を適用する。
研究資金	<ol style="list-style-type: none">1. スタートアップ資金として、5ヶ年度で総額500万円配分する。各年度の配分額は、

	<p>テニユアトラック教員の意向を踏まえて決定される。</p> <p>2. HIRAKU-Global プログラム選抜教員に決定した場合は、1 のスタートアップ資金に加えて、以下の経費を配分する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究基盤経費を初年度及び2年度目に各100万円 ・海外機関との共同研究経費を初年度に50万円、2年度目100万円、3年度目に50万円（年度間で配分額の調整可能）
テニユア付与審査	3年目に中間評価を行い、任期満了6か月前までにテニユア審査を行う。審査に合格した場合、任期を付さない教員（准教授又は講師）となる。
提出書類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 履歴書 写真貼付、学歴（高等学校卒業以降）、職歴、所属学会等、連絡先（本人に直接連絡が可能なもの）を記載すること。 2. 学位論文（コピー）と学位記（コピー）（取得見込みの場合は指導教員の意見書を提出すること。学位論文と学位記は取得後に提出。） 3. 業績リスト 原著論文、国際会議論文、著書、解説、研究発表、招待講演、特許、受賞等のリスト。論文は査読の有無により分け、責任著者の論文には著者名にアンダーラインをつけて区別すること。共著者はすべて記入のこと。 4. 概要説明（A4、1ページ以内）を付した主要論文（3編以内）を付してもよい。 5. これまでの研究概要（A4、1ページで）。 6. 着任後の教育研究に関する抱負（A4、1ページ以内）。 7. 応募者の業績等について照会可能な方2名の氏名と連絡先（所属・職名・勤務先住所・電話番号・e-mailアドレス）。
応募締切	令和6年5月13日（月）午前9時【日本標準時間】必着
応募方法	応募書類は全てPDFファイルにし、下記の書類提出先e-mailアドレス宛へ送付するとともに、問い合わせ先e-mailアドレス宛にもCCとして送付すること。容量が10MBを超過する場合は、メールを分割して送付すること。その際、PDFファイル名の最後に1_3、2_3、3_3など応募書類の分割数が分かるようにすること。折り返し受理通知のe-mailを返信するので、必ず確認すること。メールタイトルには冒頭に【教員応募：都市地域環境GX学】と記すこと。
選抜方法	書類選考の後、本人宛にe-mailで選考結果を通知する。必要に応じて、面接による最終選考を行う。なお、その際の旅費・宿泊費は、自己負担となる。
書類提出先	〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1 山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 感性デザイン分野 分野長 山田 和彦 e-mail: kzyamada@yamaguchi-u.ac.jp
問合せ先	〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1 山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 感性デザイン分野 教授 三浦 克弘 e-mail: miura-katsu@yamaguchi-u.ac.jp
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 応募に係る個人情報、個人情報保護法に基づいて適切な取り扱いをします。 2. 山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第8条の規定

により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。

3. 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しています。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミィ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミィ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がいる場合には配偶者が就業中の方）のお子様 が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供することができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索